



# 日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和5年 11月 1日  
第 8 号  
さいたま市立日進中学校  
TEL 048-663-1251  
FAX 048-663-0834

## 『心痛』

校長 小熊 誠

9月25日から始まった2年生を中心とした新人戦。結果は、団体優勝は、男子卓球部・陸上女子の400mR、準優勝は、野球・男女バドミントン団体・女子柔道団体・3位は陸上女子総合・5位男子柔道団体と7部活が県大会への出場権を獲得しました。個人では、男女陸上・男女バドミントン・男女卓球・男女柔道・女子水泳・女子新体操と10部活、団体と合わせて約100名が、県大会へ進みました。2年黄色学年、日進の新しい顔となるべく輝き始めています。今後の活躍が楽しみです。

9月30日、ASUKAモデルの誕生日でもある「いのちの日」に、市内西区 小山酒造様より御寄贈のAEDを市立58校全ての中学校の正門付近に設置する贈呈式が、市を代表して日進において、清水市長・日野副市長・竹居教育長、桐田御家族様を始め多くの来賓の皆様をお迎えし実施されました。これにより、多くの市民の皆様の命を守る大きな一歩が踏み出せました。今後も「命の大切さ」を、日進を発信地として全国に広めていきたいと考えています。12月1日には、日進小学校と連携しての「小中合同心肺蘇生訓練」も実施する予定です。日進地区の進化の始まりです。「メガ進化」していくためには、保護者・地域の皆様の御理解と御協力が不可欠です。よろしくお願ひします。

10月24日には、4年ぶりに何の制限もない、さいたま市駅伝競走大会が実施されました。大きな青空の下、63校が、学校の名誉と誇りをかけて熱い戦いを繰り広げました。日進も、本年度の最強チームを組織し、68名で、勝負の地、荒川総合運動場へ向かいました。結果は、男子24位・女子32位と健闘しました。生徒たちは、走り終えた満足感と達成感で、笑顔一杯のいい顔になっていました。しかし、彼らの思いは既に来年に向けています。日進全体で「走ることが大好き」になること。「好きこそものの上手なれ」を実践すべく動き出す準備を始めています。御期待ください。

さて11月は、埼玉県の「いじめ撲滅強化月間」です。そこで一度校長講話で取上げた『心痛』という以下の話を再度生徒たちに講話します。実はこの話は毎年したいと考えています。私は、生徒たちには、「心の痛み」の分かる人であって欲しいと願っています。それが、私の教育の根幹に繋がると考えています。



骨折は誰の目にも分かります。だから誰も足を骨折している人に「走れ」とは言いません。しかし、心の痛みは誰にも見えません。だから「走れ」と言ってしまう人がいるかも知れません。でも走れないのに「走れ」と言われた人はどう感じるでしょうか？自分でもどうして走れないのか分からない場合もあります。また例え理由が分かり、「心が痛いので走れません」と言っても誰の目にも見えません。理由も分からず、理由を言っても分かってももらえず、「心の痛み」、「心痛」は、さらに深く深く進行していきます。皆の中にもそんな「痛み」を経験したことのある人もいるかもしれません。もしかしたら、皆の周りで、そんな「痛み」に苦しんでいる仲間気が付いた人もいるかもしれません。普通、人は、自分の体の健康を心配し、体にチョットした違和感を覚えたら医師に相談したりします。また、癌のように知らないうちに体を蝕んでいく病もあります。そこで人は、定期的に健康診断を受け、その診断結果によっては、薬をいただいたり、治療に入ったりします。では、心の「痛み」、「心痛」は、どこで気がつき、どこに相談し、どこで治療すればいいのでしょうか？私は、その一つが家庭での会話や学校での先生や仲間との会話であり、毎日書いている「生活記録ノート(わすれないぞう)」であり、定期的に行っている「アンケート」であり、「面談」であると考えています。これらを有効に使い、自分から自分のチョットした違和感に気が付き、SOSをだすことはとても大切です。もし皆がそんな心や体の違和感をチョットでも自覚したら、医師に相談するように、周りの誰かに相談することが大事になってきます。また、周りの仲間のそんな症状に気が付いたら、声掛けをしてあげる勇気も大事になってきます。皆にとって医師とは、身近にいる信頼できる大人であり、声掛けができるのは、信頼できる仲間だと思います。相談することは決して恥ずかしいことではありません。「痛み」が増す前に、まずは自分から一歩踏み出してみてください。また、「痛み」をこらえている仲間気が付いたら、背中を押してあげたり、声を掛けたりしてみてください。私たちは皆で相談しやすく、声の掛けやすい環境を創っていくことが必要です。特に仲間からの声掛けは、何よりの薬になるはず。見えない敵『心痛』は「いじめの芽」にも変化していきます。この『心痛』と戦い、「いじめの芽」を撲滅していくには、予防と早期発見・早期治療が一番です。皆で、心と体のチョットした違和感を感じ取る感覚を研ぎ澄まし、仲間の「痛み」の分かる、お互いに思いやる心を大切にしていきたいと思います。

信頼できる大人とは、私たち教職員はもとより、保護者・地域の皆様です。私たちも生徒たちに信頼される大人、すなわち生徒たちを守る絶対の「守護神」となれるよう努力していきましょう。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校